

名古屋大学 ≪ 未来社会創造機構・特任教員 ≫ 公募要領

1	募 集 件 名	特任准教授、特任講師または特任助教の公募	
2	所 属	名古屋大学未来社会創造機構	
3	募 集 内 容	<p>[職務内容]</p> <p>■ JST 共創の場形成支援プログラム「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」において未利用資源・エネルギーの利活用に資する技術開発を行う。本研究では、窒素、酸素や二酸化炭素などのユビキタスガスの貯蔵、分離、変換に関する物質合成やプロセス開発を行う。具体的には、多孔性材料の合成、触媒反応開発、ガス分離デバイスの設計などに従事していただく。</p> <p>[勤務地] 名古屋市千種区不老町</p> <p>[募集人員] 特任准教授、特任講師または特任助教 若干名</p> <p>[着任時期] 2023年4月1日以降のできるだけ早い時期</p>	
4	募 集 研 究 分 野	(大分類) 工学 (大分類) 化学	(小分類) 計算科学、化学工学、ナノ構造化学 (小分類) 無機・錯体化学、有機化学、吸着化学
5	勤 務 形 態	常勤 任期：2024年3月31日まで（予算の状況・勤務成績等によって更新の可能性有り。ただし最長2032年3月31日まで。）	
6	応 募 資 格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士の学位を有する方および着任までに博士の学位取得見込みの方。 ・上記募集研究分野に関連する研究経歴があり、情熱をもって研究に取り組める方。 ・産学官連携研究に意欲的に取り組める方。 	
7	待 遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は本学において定める年俸制とする。 ・祝日・年末年始休日、有給休暇設定あり。 	
8	応 募 期 間	2022年11月10日～2022年12月9日（必着）	
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 履歴書（写真添付、連絡先（住所、電話、メールアドレス）明記） ② 研究業績リスト（学会誌等の論文、国際会議、著書・解説、特許、受賞などに分類） ③ 主要論文5編以内のPDF ④ これまでの研究内容（A4用紙2頁以内） ⑤ 照会者2名の方の連絡先（氏名、所属、連絡先） ⑥ 類型該当性の自己申告書（下記 URL より様式をダウンロードください。） https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/zXHTc8eBAB8Hmcs <p>JREC-IN Portal の「Web 応募」機能を使用し、上記の書類を圧縮するなどして1つのファイルにまとめて応募してください。なお、お送りいただいた書類は選考のみに使用しますが、返却はしませんのでご了承ください。</p>	

		<p>[選考内容] 書類審査のうえ、随時、面接を行います。面接の際の旅費は自己負担とします</p> <p>[結果通知方法] 選考結果はメールで通知します。</p> <p>[問い合わせ連絡先] 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院工学研究科 応用物質化学専攻 (兼) 未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター 教授 松田 亮太郎 e-mail : ryotaro.matsuda@chembio.nagoya-u.ac.jp</p>
10	そ の 他	<p>① 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>② 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</p> <p>③ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。</p> <p>④ 面接に要する交通費は支給しません。</p>